

幻想の森 & 土湯の森での森林環境教育

8月30日（土）、戸沢村小学校第6学年行事において、幻想の森及び土湯の森での森林環境教育を実施しました。



（白倉祐一さんからの説明）

クロモジの木のおいについては、当方の予想では「いいにおい」との感想をもらえる筈だったのですが、「くさい～」との声に、「大人になると、いいにおいを感じるよ」と少々滑舌の悪い説明結果となってしまいました。



（多田支署長から森林からの恵みについて説明）

最後に、多田支署長から、木のぬくもりを感じて育った人は、情緒が安定していることや、木を沢山使うことは、森林の整備につながり、森林が良くなっていく等の話を聞き、児童さんや保護者のみなさんは真剣な眼差しで聞き入っていました。

今後も土湯の森に人々が集う機会を企画したいと思います。

当日は、児童38名、保護者36名、教師3名ほか計80名が訪れました。

幻想の森散策前に、最上エコポリス自然案内協会の白倉祐一さんから概要を説明していただきました。

その後、4班体制により当センター職員先導のもと、山の内スギが醸し出す幻想的な林内の雰囲気の中、木に登ったり、クロモジの木の臭いを嗅いでもらう等のプログラムを実施しました。



（巨木に登り、ハイ・ポーズ）

最上川スキー場跡地の土湯の森においては、H19年度から実施している自然再生事業の経緯説明や昨年度、山取苗の広葉樹（カエデ、ブナほか）を植え付けした箇所を見てもらいました。

実際に植え付けに参加した児童さん（緑の少年団）に、自分が植えた苗を見てもらえたことは大変有意義でした。

